



特定非営利活動法人

News Letter
あい・友

第 13 号

2015 年 6 月

音楽セラピー「あい・友 遊音」がスタート♪

施設にいる高齢者や障がい者が音楽を通して記憶機能や体力の向上を促進する音楽療法事業「あい・友 遊音」がスタートしました。5月18日、東京・品川区の社会福祉法人福栄会晴楓ホームで開かれた第1回目のセラピーには、あい・友から委託を受けた音楽療法士粟生美智代先生があい・友メンバーとともに同施設の高齢者30人に音楽療法を行いました。



ホーム内の特設スペースには、キーボードやドラム、パーカッションなどの打楽器、鈴やタンバリンなどが置かれました。高齢者は粟生先生のキーボードの伴奏に合わせて、「世界の国からこんにちは」、5月にちなんだ「鯉のぼり」「茶摘み」「シャボン玉」などを全員で斉唱。歌いながら手を動かしたり、楽器を持って音を出したり、スティックでドラムをたたいたり、1時間にわたって、楽器演奏を楽しみました。ヘルプしたあい・友メンバーも一緒に歌を歌ったり、手を取り合って、交流しました。あい・友会員として初めて参加したメンバーは「最初本当に歌や演奏に参加してくれるのだろうかと思っていましたが、始まったらそんな心配はまったくなくて、参加された人たちの喜ぶ顔があちこちで覗かれてうれしかった」と満足顔。



▲音楽療法士の粟生先生

あい・友ではこうした音楽セラピーでの施設訪問を年間を通して定期的に行うことにしており、対象も要介護高齢者はじめ、知的障がい者の方の施設を中心に実施する予定です。

理事長からのメッセージ

いろいろな事があった1年でした。青天の霹靂という言葉がピッタリの1年でもありました。しかしながら、メンバーや現地の方々の理解と協力があって、物の見事に返り咲きました。未だすべてが收拾されているわけではありませんが、NPOとしての組織力の増強、何より団結力が再認識でき、理事たちにとっても最高に強く感じているところではないでしょうか。

今年から新しい活動として、音とアクションを使った高齢者・障がい者への奉仕活動が始まりました。どんな状態にあっても人間は明るさを求めるものです。この活動は人としての喜びを味わってもらう、参加し自由に表現することに重点を置いた活動なのです。この活動を私たちは「あい・友 遊音」と命名し、2本目の柱として続けて行くつもりであります。このノウハウは障がいの種類や年齢を超えて、様々な活動の中で生かせると思います。療法士の採用・養成などを充実させ、将来、様々な場所で実践していきたいと思っております。

(理事長 前田久美子)

芽子にんにく生産で広がる活動の場 サンチュ工場からの転換 県から支援金を受け機器・システム整備に着手



▲青木村の畑でにんにくの芽を摘む実習に参加する学生たち

今までは樋口副理事長の系列会社である(株)エフ・イー・シーさんに長野県青木村にある植物工場の運営を委託し、大久保さんに毎日のお世話をお願いしてきました。しかし、昨年夏、工場が運営できない旨の通知があり、残念なことに工場は閉鎖となりました。

この事態を受けて緊急理事会が開かれ、熱い議論をした結果、我々だけで運営していくという方針に決まりました。それに伴い、サンチュから芽子にんにくに作物変換をしていくことになりました。作る場所も今までのハウスは使えませんが、河本会員のご好意で、すぐ近く河本会員の所有されている建物の一部をお借りして作ることになりました。

また、原材料のにんにくそのものも青木産にするために、管社里山ひつじ会・JAファーム・個人の畑等々村全体の総力体制が北村村長の御骨折りで出来上がりました。短時間の間に約1 ha 近い畑がキープされたこと、並びに人的協力体制が確立したことは、脅威的な事だと認識しています。そうすることで青木村が推



▲道の駅の出店に並べられたガーリックオイルとチップ

進しようとしている6次産業の確立が現実になり、青木村に対する貢献だけでなく、我々の組織の基盤強化にも力強い一歩が踏み出せたと確信しています。

青木村では大久保さんに代わり、平林隆彦さん一家にお手伝いいただくことになりました。平林さんは農家出身ではなく、これまで海外活動が主体だったため、農作物に関わるのは全く初めての経験で大変苦労をされました。ちょうど3人目の子どもの出産と重なり、多忙を極めましたが、大変意味のあるスタートが切れたと思います。

販売所となる「道の駅あおき」から、初荷にガーリックチップとガーリックオイルの出品を依頼をされたのですが、時間的余裕がなく、

1月15日からの販売になりました。理事5人並びに有志5人が3日間、青木村の工場でほとんど徹夜で作業しましたが、苦労した甲斐があって製品は大変できが良く、団結することで素晴らしい力が発揮できることを再認識しました。道の駅の出店には全員がデモ用要員等として参加



▲にんにくの芽を使った料理講習し、販売はみごとに成功しました。この思わぬ売れ行きへの驚きと成果への感触に全員が納得の出来る活動になりました。

その後、全国で1040ある道の駅の中から、2015年度の優秀な道の駅として39カ所が選ばれた中、その一つに青木村の道の駅が入りました。国交省で行われた表彰式には当NPOの製品が参加者に配られ、好評だったと聞いています。

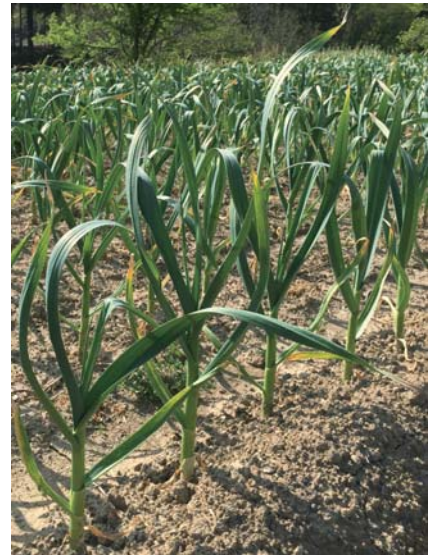
6月中旬になるとにんにくの収穫時期になり、はじめての収穫物を手にすることができます。良い作物が採れることを信じている今日この頃です。その収穫されたにんにくは温度調節など特殊な環境を作り、そこで保管され、芽子にんにくやチップ、オイルに加工さ



れ、9月頃から販売されることとなります。その時は高齢者の方々並びに障がい者の方々にお手伝いをお願いし村から提供されている工場（フライやオイルを製造する所）と芽子んにんにくを作る所と2か所で本格的な活動を行うこととなります。メンバーの方々にはできる限り労働奉仕をお願いし、一緒に活動することを

進めたいと思っています。

また資金を得るために長野県の「地域発元 元気作り支援金」応募しましたところ、幸いにも当団体は今年（27年度）補助を受けることができました。この支援金は申請内容に沿って使われるのですが、機器の購入や製造時における管理システムの構築などに使うことが予定されています。この補助金をいただいたことは、青木村にとっても、当団体にとってもたいへん名誉なことであり、誇りに思っております。



▲収穫間近のにんにく畑

「あい・友 遊音」と「音楽療法」



「音楽療法」とは、心身の訓練的な要素を楽しみながら改善、あるいは促進することを目的とする音楽活動です。例えば、歌を歌いながら嚙下（えんげ）トレーニング、楽器を演奏する事による身体のリハビリ等の仕掛けがあるのが音楽療法です。【音楽を楽しむ】から一歩進んだ活動です。

あい・友の音楽療法では、楽器を鳴らしたり歌を歌うだけでなく、シャボン玉や大布な

ど色々な素材を音や音楽と共に使い、視覚や触覚等色々な感覚に働きかけ、重度障がいの方も、より参加しやすい場となるようにアプローチし、たくさんの方と楽しい時間と空間を共有していきたいと考えております。



そこで、NPOあい・友ではこの活動を「遊音（ゆーおん）」と名付けました。音や音楽を遊びを通して親しむことで人と人がつながる空間を創造していくことがこの活動の目的です。

人は人とつながることで発達していくと考えられています。あい・友の音楽療法である「遊音」ではセラピストだけでなく、色々な人と関わる事で効果を上げることを期待しています。たくさんの方と交流できるよう、愛と友に溢れた「あい・友」らしい音楽療法の場にしていきたいと思っております。皆様、あい・友音楽療法に参加し、楽しい時間と空間を共有しませんか。参加をお待ちしています。

◀ 音楽療法で使うさまざまな楽器たち



農園だより

あい・友農園では、昨年まで植物工場内でのサンチュ栽培を行ってきましたが、諸事情により、いったん植物工場は休止することになりました。それに替わる新たな農業生産事業として、青木村産のにんにくを使用した「芽子にんにく」の生産・加工・販売に取り組むことになり、9月来、生産準備を進めています。

前農園長の久保さんに代わって農園運営をするようになったのは平林隆彦さん一家（奥様・お子様3人）で、平林さんは、これまで農業経験はないものの、海外での経験が豊富なため、



▲道の駅あおきにて

その経験を生かし、新しい農場経営に手腕を発揮されるものとたいへん期待されています。

昨年10月にあい・友は、「芽子にんにく」の生産を

青木村と協同で行うことを提案。地元農家と協力して種にんにくを植苗しました。今年6月に収穫になります。収穫したにんにくは、専用の水耕栽培施設で発芽させ、「芽子にんにく」にします。青木産の「芽子にんにく」の発売は9月ごろを予定しています。

「芽子にんにく」を使った加工製品として、ガーリックオリーブオイルとフライドガーリックチップがありますが、これらの製品については今年2月、青木村の「道の駅あおき」にて先行試験販売を行いました。この様子が信濃毎日新聞で取り上げられたこともあり、たいへん好評を博しました。

また、オイル・チップを利用したレシピを平林さんの奥様が「クックパッド」に公開されています。食材別レシピベスト10に選ばれるなど、ご一家の協力体制も充実しています。

あい・友農園事業が軌道に乗り、NPO本来の障がい者・高齢者の就労支援が1日も早く実現できるようこれからも精一杯取り組みたいと思っています。

事務局だより

6月1日より、あい・友の新しい年度がスタートしました。新年度では新しく始まった音楽療法「あい・友 遊音」の活動や、あい・友農園での芽子にんにく事業などを中心に、活動の幅を広げていきます。先日、第1回目の「あい・友 遊音」の活動がありました。音楽療法の説明を聞いてはいたものの、実際に参加してみると、想像していたものと違って、一緒に楽しむという活動でした。「百聞は一見に如かず」、次回は、会員の皆さまにご連絡いたしますので、ぜひ一緒にご参加いただけますと幸いです。

【今後のスケジュール】

- ・6月下旬：青木村にんにく収穫
- ・7月26日（日）：定時総会 ※懇親会で、音楽療法を体験いただけるイベントを企画中です♪

発行日：2015年6月1日
発行者：特定非営利活動法人あい・友
本部：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-38-5
TEL：03-3485-1793 / FAX：03-3469-5312
支部：大阪市北区東天満 2-10-24 / 長野県小県郡青木村殿戸 206-3
発行責任者：豊村泰彦

あい・友のメンバーになりませんか？
お申し込みは、事務局まで
TEL：03-3485-1793
mail：jimukyoku@aiyuu.org
HP：http://www.aiyuu.org/